

# 復興道路の工事で「震災がれき」を活用

## 概要

釜石市では、東日本大震災により発生した「震災がれき」の処理を進めているところですが、ストックヤード不足、がれき処理の進捗が課題となっていました。

がれき処理の促進、復興地域の資材不足への対応を図るため、「国道45号 釜石山田道路工事」において、震災により発生したコンクリート殻（約500m<sup>3</sup>）を工事用のアクセス道路の敷砂利として活用しました。

## 復興道路の工事で「震災がれき」を活用 現場説明実施状況

説明日時：平成24年7月27日（金） 10:00～

説明場所：岩手県釜石市大字釜石第8地割地内



▲コンクリート殻 搬入状況



▲コンクリート殻を敷きならし